

■ 同訓異字の書き取り問題

訓読みが同じでも、意味も漢字が異なるものを同訓異字といいます。

それぞれの例文にあう漢字を に書きましょう。()には送りながが入ります。

② <input type="text"/> あ た か い	① <input type="text"/> あ た か い	あ た た か い	③ 家 を	② 窓 を	① 夜 が	あ け る	あ け る	あ け る	② 気 が	① 友 達 に	あ う	あ う	あ う
()	()		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
飲 み 物	地 域								友 達				
3	6		1	3	2	2	2	2	2	2	2	2	習 う 学 年

② 言 葉 に	① 正 体 を	あ ら わ す	② 答 え を	① 先 生 に	あ や ま る	あ や ま る	③ な べ が	あ つ い	あ つ い	あ つ い	あ つ い	あ つ い	あ つ い
()	()		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
わ す	わ す		ま る	ま る			日 が 続 く		本				
3	5		6	5	4	3	4	3	5	5	5	5	5

② 私 は 部 屋 に	① 矢 を	い る	い る	い る	い る	い る	② 西 に	あ る	あ る	あ る	あ る	あ る	あ る
()	()		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
							国						少 年
6	4		6	4	5	5	5	5	5	5	5	5	3

■ 同訓異字の書き取り問題

訓読みが同じでも、意味も漢字が異なるものを同訓異字といいます。

それぞれの例文にあう漢字を に書きましょう。()には送りながが入ります。

② 成功を	① 税金を	おさめる	② 赤ちゃんを	① 素敵な作品を	うむ	③ 視線を	② 文を書き	① 鏡に姿を	うつす
<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
()	()		()	()		()	()	()	
<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

② 犬を	① 食べ物を	かう	② 車から荷物を	① 国旗を	おろす	② 国を	① 学業を
<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>
()	()		()	()		()	()
<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>

② 先生の話	① かぜに	きく	④ ユニフォーム	③ 選手を	② 生き	① 家に	かえる
<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
()	()		()	()	()	()	
<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>				

同訓異字の書き取り問題

訓読みが同じでも、意味も漢字が異なるものを同訓異字といいます。

それぞれの例文にあう漢字を に書きましょう。()には送りながが入ります。

② 夢から

さめ

() る

① スープが

さめ

() る

さめる

② 将棋を

さす

()

① 目薬を

さす

()

さす

② 感想をひと

こと

書く

① がんばった

こと

を書く

こと

4

4

3

4

2

3

習う
学年

② 電気の

たま

を交か

んする

①

たま

入れて

流れる

曲

たま

③ 悪を

た

()

② 家が

た

()

① 席を

た

()

たつ

② お線香を

そ

な

える

① 災害に

そ

な

える

そなえる

3

1

5

4

1

6

6

③ 主役を

つ

() め

る

② 病院に

つ

() め

る

① 研究に

つ

() め

る

つとめる

② 船を

つ

() 会

社

① 料理を

つ

() る

つくる

② 目的地に

つ

() る

① 知恵が

つ

() る

つく

5

5

6

6

2

3

4

■ 同訓異字の書き取り問題

訓読みが同じでも、意味も漢字が異なるものを同訓異字といいます。

それぞれの例文にあう漢字を□に書きましょう。()には送りながが入ります。

② 足が □ ()	① 朝 □ ()	は や い	② 友達と □ ()	① つった魚を □ ()	は な す	② □ ()	① 練習を □ ()	は じ め	② □ ()	① 練習を □ ()	は じ め
友 達	時 間					て の 練 習					
3	1		3	3		4	3				習う 学年

② 学校の □ ()	① 時計 □ ()	ま わ り	② 白と黒が □ ()	① 線と線が □ ()	ま じ る	② 体重が □ ()	① 時を □ ()	へ る	② □ ()	① 時を □ ()	へ る
4	2		5	2		5	5				

② 生き □ ()	① 道が □ ()	わ か れ る	② 試合に □ ()	① ズボンが □ ()	や ぶ れ る	② □ ()	① □ ()	も と	② □ ()	① □ ()	も と
映 画						に も ど す	を 正 す				
4	2		4	5		2	5				

■ 同訓異字の書き取り問題

訓読みが同じでも、意味も漢字が異なるものを同訓異字といいます。

それぞれの例文にあう漢字を□に書きましょう。()には送りながが入ります。

② 血液を □ ()	① 先制点を □ ()	と る	② ボタンを □ ()	① けんかを □ ()	と め る	② 問題を □ ()	① 理由を □ ()	と く	② □ ()	① 理由を □ ()	と く
5	3		5	2		5	4				習う 学年

② □ ()	① 先生の話が □ ()	な が い	② □ ()	① 箱の □ ()	な か	② 病気を □ ()	① ねぐせを □ ()	な お す	② □ ()	① ねぐせを □ ()	な お す
5	2		4	1		4	2				

③ 主役を □ ()	② 体重を □ ()	① 時間を □ ()	は か る	② 山に □ ()	① 階段を □ ()	の ぼ る	② カエルが □ ()	① 赤ちゃんが □ ()	な く	② □ ()	① 赤ちゃんが □ ()	な く
2	4	5		3	1		2	4				